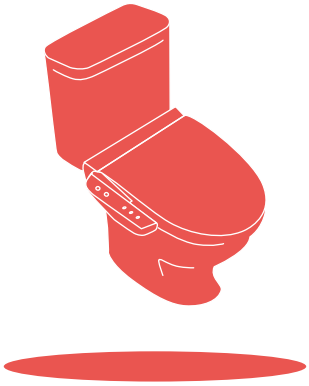
省エネ家電の上手な使い方・選び方

「電気便座」

長時間使わない時は電源をOFFにしたり、
お出かけや就寝前はタイマー等の節電モードを使うことで、
省エネ効果が得られます。



■ 上手な使い方

● 使わないときはフタを閉める

年間で電気 **34.90kWh** の省エネ　約 **940円** の節約

原油換算　**7.78ℓ**　CO_2削減量　**14.72kg**

フタを閉めた場合と、開けっ放しの場合との比較(貯湯式)

● 暖房便座の温度は低めに

年間で電気 **26.40kWh** の省エネ　約 **710円** の節約

原油換算　**5.88ℓ**　CO_2削減量　**11.14kg**

便座の設定温度を一段階下げた（中→弱）場合（貯湯式）
冷房期間は便座の暖房をOFFにしています。

● 洗浄水の温度は低めに

年間で電気 **13.80kWh** の省エネ　約 **370円** の節約

原油換算　**3.07ℓ**　CO_2削減量　**5.82kg**

洗浄水の温度の設定を年間一段階下げた（中→弱）場合（貯湯式）

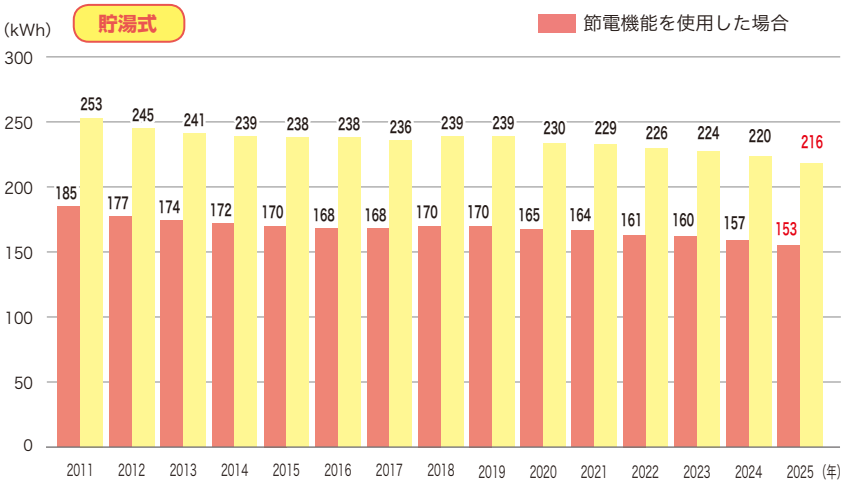
※暖房期間:周囲温度 11℃ 中間期:周囲温度 18℃ 冷房期間:周囲温度 26℃

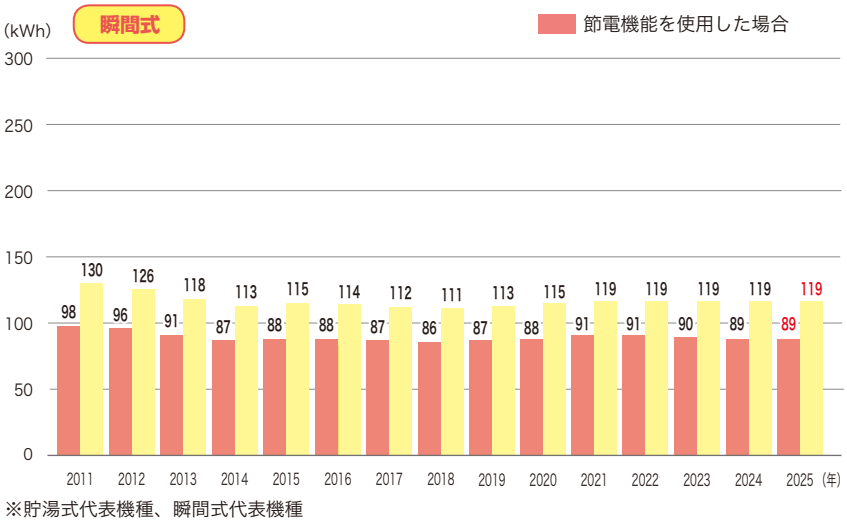
このページのデータは一般財団法人 省エネルギーセンターの実測値に基づき算出しています。



■ 上手な選び方

● 年間消費電力量の推移（kWh/年）





※貯湯式代表機種、瞬間式代表機種

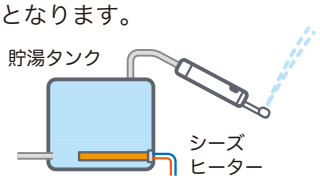
出所：省エネ性能カタログ夏版･冬版の単純平均値（2011～2017年）、
省エネ性能カタログPDF版の平均値（2018～2025年）

● 電気便座の種類

電気便座は温水洗浄便座の「貯湯式」「瞬間式」と温水洗浄機能のない暖房専用の暖房便座があります。電気料金や購入予算、家族の人数、トイレの電源など、よく考えて選びましょう。

貯湯式

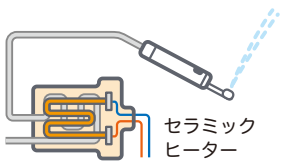
タンクの中の水をヒーターで温める方式で、一度にたっぷりの温水で洗浄することができますが、温水を保温するための電力が必要となります。



貯湯式の年間消費電力量の平均 **153kWh/年**

瞬間式

タンクがなく、使用の度に水を瞬間湯沸器で温めます。温水を保温する電力は不要のため、"貯湯式"より消費電力は小さくなります。また瞬間的に大きな電力を必要とします。



瞬間式の年間消費電力量の平均 **89kWh/年**

※消費電力量は節電機能を使用した場合の目安です。
出所：省エネ性能カタログPDF版の平均値（2025年）

■ 統一省エネラベルと多段階評価点



電気便座　目標年度2012年度

省エネ性能の高い順に0.1きざみ（5.0～1.0）の評価点で表示。
★（星マーク）は多段階評価点に応じて表しています。

年間消費電力量

電気便座を家庭での平均的な方法で使用したときの1年間に消費する電力量です。年間消費電力量が小さいほど、目安となる年間電気料金が安くなります。

省エネ基準達成率

種類（貯湯タンクの有無等）が同じならば、省エネ基準達成率が高いほど省エネ性に優れ、年間電気料金も安くなります。電気便座は、洗浄機能の有無、貯湯タンクの有無により分けられた区分ごとに、目標基準値が設定されています。

■ 掲載製品

温水洗浄便座及び暖房便座です。暖房専用便座、温水洗浄装置のみのもの、他の給湯設備から温水の供給を受けるもの、専ら鉄道車輌に用いるためのものは対象外です。

省エネ性能カタログの区分　便座の種類によって行っています。（サイトでは絞り込み検索ができます。）

貯湯式	瞬間式

■ 各種表示

● 年間消費電力量（kWh/年）

温水加熱部、便座部、制御及び操作部の機能ごとに測定した消費電力量を合計して算出し、整数で表示しています。

通常動作		節電		節電から復帰
Wh/h × 動作時間	＋	Wh/h × 節電時間	＋	Wh/h × 復帰時間

時間あたりの消費電力量から365日に換算しています。
※通常動作に脱臭、部屋暖房、温風乾燥などの付加機能は含みません。

● 最大定格消費電力（W）

便座や洗浄水を加熱したりするときの最大時の消費電力を表しています。

● 貯湯量（L）

貯湯タンク容量のうちの温水の量を表しています。

● 最大水量（L/min）

ノズルから出てくる１分あたりの最大水量です。

● 温水温度（℃）

ノズルから出てくる水の温度は、最高温度と最低温度の範囲で調節できますが、設定段階の数は機種によって異なります。

● 便座温度（℃）

便座の表面温度は、最高温度と最低温度の範囲で調節できますが、設定段階の数は機種によって異なります。

● フタ自動開閉

便座に近づくと自動でフタが開き、使用後に離れると再び自動で閉まる機能で、フタの開けっ放しによるヒーターの放熱を抑えてくれます。

● 節電方式

電力の使用を抑える機能です。節電の方法は、温水と便座の温度を自動的にコントロールするものや、タイマーによるモードの切替など機種によって異なります。